

〔5〕 海外向け設備

2012年の成果として、海外市場へ展開を加速している太陽光発電システムの納入実績を紹介する。

太陽光発電システムはコスタリカ共和国へ1MW+3kW太陽光発電システムの引渡しが無事完了した。これは、中南米で初のMW級設備となる。また、同国首都サンホセ市中心部には、デモンストレーション用太陽光パネルが設置され、これにより、日本の優れた環境関連技術が、同国政府を始めとする関係機関・国民に広く紹介される事が期待される。

当社は、独創的な技術と高品質な製品・サービスの提供を通じて、お客様や社会から確かな信頼を獲得、世界各国の社会インフラと産業の基盤づくりに貢献していく所存である。

コスタリカ向け太陽光発電システム

2012年10月より中南米初となるMW級太陽光発電システムの運転を開始した。同国は自然豊かな環境を活用し、電力供給の90%以上を地熱発電、風力発電、水力発電などの自然エネルギーで賄っている。今回の太陽光発電システムの導入により、さらに環境にやさしい電力供給が増加し、CO₂排出量の削減に貢献することを期待する。

【納入設備】

1000kW + 3kW 太陽光発電システム機器×1式

- ・ 太陽光モジュール×1式
- ・ 100kW パワーコンディショナ×10台
- ・ 接続箱、集電箱×1式
- ・ 制御、監視装置×1式
- ・ 34.5kV 閉鎖配電盤×2面
- ・ 34.5kV/480V, 1250kVA TR×1台
- ・ 低圧閉鎖配電盤×2面

今回の契約では現地メンテナンススタッフの14日間のトレーニングが含まれており、教育スタッフが約1ヵ月現地へ出向、机上説明から運転操作まで一通りの指導を実施した。

今後、同国での大容量太陽光発電システムの導入が加速されることを期待する。



図1 1MW太陽光発電システム



図2 100kWパワーコンディショナ